

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成18・19年度)の研究主題  
— 平成19年度 —

都道府県名・推進地域名		推進協力校名 協力機関名	平成19年度 事業の内容・取組の重点	
1	岩手県 釜石市	<推進協力校> 釜石市立甲子小学校 釜石市立甲子中学校 岩手県立釜石南高等学校  <協力機関> 釜石市立図書館	事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	ア 推進協力校の学区に学校、保護者、地域関係者等からなる甲子地区読書推進協議会を立ち上げ、市町村が設置する読書推進会議と連携した読書活動を推進する。 イ 各学校の図書室の蔵書の相互活用、市立図書館と連携した蔵書活用など、それぞれが有する蔵書の活用の在り方について研究する。 ウ 各校における読書活動を取り入れた学習の一層の推進を図る。
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	・年度末の意識調査による実態と変容の把握 ・読書量調査(読書傾向、読書量) ・読書推進会議における評価
			事業の内容 ③その他	・図書ボランティアの交流、活動場面の拡大
			平成19年度の取組の重点	① テーマを決めて朝読書に取り組むこと。 ② 読書に関する授業交流及び実践交流を行うこと。 ③ 各推進協力校が公立図書館や図書ボランティアと連携した「読み聞かせ」を行うこと。
2	福島県 双葉町	<推進協力校> 双葉町立双葉南小学校 双葉町立双葉北小学校 双葉町立双葉中学校  <協力機関> 双葉町図書館	事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	①授業研究などの学校間連携の推進 ②学校と家庭が連携した家庭読書の推進 ③家庭同士の情報交換の推進 ④家庭と地域社会が連携した町図書館の利用推進 ⑤学校と町図書館が連携した学習活動支援
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	<アンケート調査> 対象:児童・生徒、保護者 ○第3次 平成19年 6月 読書に関する実態(課題把握)調査…必要に応じて聞き取り調査を実施 ○第4次 平成19年12月 読書に関する実態(変容把握)調査…必要に応じて聞き取り調査を実施 <意見公募(意識調査を含む)> 対象:保護者、図書ボランティア、教職員、町図書館等関係職員、地域住民 策定に向けた『双葉町子ども読書活動推進計画』案についての意見公募…必要に応じて聞き取り調査を実施
			事業の内容 ③その他	学校内の読書活動の推進にとどまらず、町幼小中学校教育研究会や町PTA連絡協議会において、読書活動の公開授業研究会や実践発表会、講演会(家庭・地域の方々の参観・参加可)を開催し、意見交流や情報交換をする。このことにより、活動状況の共有化とともに、よりよい工夫・改善を図り、今後の読書活動推進に生かす。
			平成19年度の取組の重点	①双葉町図書館との連携の推進 ②実態調査結果等を踏まえた取組の改善
3	埼玉県 三郷市	<推進協力校> 三郷市立立花小学校 三郷市立前谷小学校 三郷市立北郷小学校 三郷市立彦郷小学校  <協力機関> 三郷市立早稲田図書館 三郷市立北部図書館 三郷市立図書館 埼玉県立図書館	事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	①授業公開、研修会・講演会の共同開催など学校間の交流と連携 ②読書や学習を支える情報の拠点としての公立図書館との連携 ③読書ボランティアとの連携と読書ボランティア間の交流 ④「家庭読書の日」の制定と啓発活動 ⑤推進協力校の成果の普及
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	①読書に関する実態調査 ・読書量調査 ・読書に関する意識調査(児童・保護者・教師)
			事業の内容 ③その他	・学校図書館の環境整備(コンピュータによる蔵書管理、本を読みたくなる環境作り) ・子どもたちの発達段階に応じた「必読書」を選定 ・全校一斉朝読書の推進 ・推進校の取り組みの成果の普及
			平成19年度の取組の重点	①「読書好きの子ども」の育成を目指した読書の習慣化の促進 ②読書量の増加・読書の質の向上を目指した読書活動の推進 ③読書環境づくりの促進 ④学校間、公立図書館等との連携の促進
4	東京都 荒川区	<推進協力校> 荒川区立第二瑞光小学校 荒川区立第三瑞光小学校 荒川区立南千住第二中学校  <協力機関> 荒川区立南千住図書館	事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	親子読書 学校図書館ボランティアによる読書推進 南千住図書館職員によるブックトークや利用指導 読書活動の相互交流 読書活動発表会
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	学校図書館貸出冊数調査(月毎の貸出状況) 児童生徒の読書量調査(1か月間に読む本の平均冊数) 児童生徒の読書に対する意識調査 家庭での読書実態調査(家庭での読書習慣、読書時間、読書量等)
			事業の内容 ③その他	読書活動推進プランの実施
			平成19年度の取組の重点	読書活動を通してはぐくむ生きる力を明確にし、地域・学校の特色ある読書指導を具現化する取組

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成18・19年度)の研究主題  
— 平成19年度 —

都道府県名・推進地域名		推進協力校名 協力機関名	平成19年度 事業の内容・取組の重点	
5	東京都 あきる野市	<推進協力校> あきる野市立増戸小学校 あきる野市立五日市小学校 あきる野市立戸倉小学校 あきる野市立小宮小学校 あきる野市立増戸中学校 あきる野市立五日市中学校 <協力機関> 五日市図書館 五日市図書館増戸分室	<b>事業の内容</b> ①学校, 家庭, 地域社会が連携した取組 ア 読書活動支援, 資料検索指導など学校・公共図書館との連携の推進 イ 図書ボランティア, 家庭教育連絡ノートの活用など学校・家庭・地域との連携の推進 ウ 小・中の交流や, 共同研究など学校間の連携の推進	
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査 ア 読書に対する抵抗感があるのかどうか, 読書から離れているとしたら, その代わりに何に時間を費やしているのかを調べるための質問 イ 読書量をどれだけ自覚しているかを調べるための質問 ウ 読書習慣などについて調べるための質問 エ 調べ学習等において図書資料はどれだけ活用されているのか, 紹介したいほど気に入った本がどれくらいあるのかを調べるための質問	
			<b>事業の内容</b> ③その他 ○読書への関心・意欲を高める指導の工夫 ○目的に応じて読み取る力を高める取組の推進 ○教員の意識高揚, 指導技能の向上を目指した研修の充実	
			<b>平成19年度 の取組の重点</b> ①読書活動の質的な向上 ②家庭や地域への啓発 ③読書活動推進のための年間指導計画の作成	
6	長野県 青木村	<推進協力校> 青木村立青木小学校 青木村立青木中学校 <協力機関> 青木村立図書館 まつぼつりの会 読み聞かせの会 朗読の会	<b>事業の内容</b> ①学校, 家庭, 地域社会が連携した取組 (1) 児童生徒の読書習慣の定着, 読書時間の確保に関する取組 (2) 読書環境の整備, 充実に関する取組 (3) 児童生徒の読書力向上に関する取組	
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査 (1) 小中学校において児童生徒の読書量, 読書傾向, 読書生活の問題点等について意識調査 (2) 保護者, 教師, 村民対象の読書に関する実情・意識調査	
			<b>事業の内容</b> ③その他 (1) 読書活動推進委員会・読書アドバイザーの設置	
			<b>平成19年度 の取組の重点</b> ・小中学校で実施した「読書生活に関する調査」で浮かび上がった課題のうち, (3) 児童生徒の読書力の向上に関する取組を重点に, 小中学校での授業研究とも関連させながら取組を展開したい。(読解力の向上など) (1) (2) に関しても, 新しいアイデアや視点で継続して取り組みたい。	
7	滋賀県 近江八幡市	<推進協力校> 近江八幡市立沖島小学校 近江八幡市立八幡中学校 近江八幡市立八幡東中学校 滋賀県立八幡工業高等学校 <協力機関> 近江八幡市立図書館 近江八幡市保健センター	<b>事業の内容</b> ①学校, 家庭, 地域社会が連携した取組 ・関係機関と連携し, 読書指導や読書活動の充実について検討を重ね, 効果的な読書活動や教育課程の位置づけについて検証する。 ・系統的な読書指導のあり方を探り, 発達段階に応じた読書活動を推進する。	
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査 ・現状調査を実施し, 昨年度と比較する。 ・ブックトークや読み聞かせ後の追跡調査や読書量の変化等に注目していく。	
			<b>事業の内容</b> ③その他 ・読書活動の充実を図るため, 市立図書館のインターネットサーバーに各小中学校の蔵書データを入力, 編集できるシステムづくりの具体化を図る。	
			<b>平成19年度 の取組の重点</b> ①推進校における取組を一層充実させる。 ②推進校を中心にして, 発達の連続性に視点を置いた取組を実施する。 ③市立図書館等関係機関等との連携を充実させる。	
8	京都府 八幡市	<推進協力校> 八幡市立八幡第二小学校 八幡市立八幡第四小学校 八幡市立男山第二中学校 <協力機関> 八幡市民図書館 八幡市ふるさと学習館	<b>事業の内容</b> ①学校, 家庭, 地域社会が連携した取組 ・読書ボランティアによる読み聞かせ(パネルシアター, ストーリーテリング)や校種間連携による読み聞かせの交流。 ・学校, 家庭, 地域社会を結ぶ取組として市民図書館のレファレンス機能の充実 ・学校図書館に充実に向けた蔵書管理のデータベース化の基盤づくり ・読書ボランティア, 各校の図書館関係者等の合同研修会の実施 ・市民図書館とタイアップしたおすすめ本紹介冊子の作成と発信	
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査 ・児童生徒の読書量等アンケート調査(小中共通アンケート) 前期当初・後期まとめ(2月) ・保護者の読書意識調査 ・CRT検査による国語力向上に係る調査	
			<b>事業の内容</b> ③その他 ・読書活動推進に係る教職員研修会 ・朝読書の取組 ・児童生徒の図書委員会活動の充実(幼小連携, 全校放送による読み聞かせ)	
			<b>平成19年度 の取組の重点</b> ・朝読書の一層の充実(京都府教育委員会「みんなで読もう! 1000万冊キャンペーン」への参加 ・教職員のおすすめ本の紹介冊子の作成(市民図書館との連携で) ・図書館ボランティアの一層の充実(特に中学校におけるボランティア活動) ・幼小連携による読み聞かせ活動の一層の推進	

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成18・19年度)の研究主題  
— 平成19年度 —

都道府県名・推進地域名	推進協力校名 協力機関名	平成19年度 事業の内容・取組の重点	
9 大阪府 豊能町	<推進協力校> 豊能町立吉川小学校 豊能町立光風台小学校 豊能町立東とさわ台小学校 豊能町立吉川中学校  <協力機関> 豊能町立図書館 豊能町立西公民館	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組  <b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方による朝の読み聞かせ活動</li> <li>・学校図書館司書による保護者向けの読書活動の研修会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教員、児童生徒及び保護者の「読書」に対する意識調査アンケートを実施。</li> </ul> <アンケートの一例> (児童・生徒対象) ・好きな本はありますか。 ・家のどの部屋で読みますか。 ・家族と本について話したことがありますか。 等 (保護者対象) ・読書が好きですか。 ・子どもが読んでいる本を知っていますか。 ・本を読むきっかけは何でしたか。 ・子どもにすすみたいお気に入りの本はありますか。 等 ○幼稚園・学校教員については、全ての教科領域の中で読書活動及び読解力の育成に取組んでいる内容の現状把握を含めてアンケートを実施。
10 奈良県 川西町及び三宅町	<推進協力校> 川西町立結崎小学校 川西町立唐院小学校 三宅町立三宅小学校 川西町三宅町式下中学校 三宅町立式下中学校  <協力機関> 川西町立図書館 三宅町中央公民館図書室	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組  <b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の読書環境の整備</li> <li>・幼稚園、小・中学校の一貫した読書教育システムの構築</li> <li>・各機関との連携</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書に関するアンケート調査の実施</li> </ul> 調査対象:小・中学校の児童生徒及び保護者 調査時期:7月, 10月, 1月, その他(随時) 調査内容:読書に関する意識, 読書量(読書冊数・読書時間) 読書場所, 読書時間帯等
11 和歌山県 海南市	<推進協力校> 海南市立北野上小学校 海南市立北野上小学校七山分校 海南市立中野上小学校 海南市立南野上小学校 海南市立東海南中学校  <協力機関> 北野上公民館 中野上公民館 南野上公民館 住民センター 児童図書館 下津図書館	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組  <b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海南市読書活動推進会議の運営              学校関係者, 社会教育関係者, PTA関係者, 学識経験者, 教育委員会関係者等からなる標記会議を立ち上げ, 事業が効果的に推進されるよう指導・助言にあたる。</li> <li>②小学校と中学校の連携              子どもたちの9年間の育ちを見通した読書活動の計画作成の他, 図書館担当教諭による連絡会の開催や児童・生徒の交流等も視野に入れ, 小学校と中学校の連携を図っていく。</li> <li>③家庭や地域との連携・協力              家庭や公民館, 地域ボランティア等との連携により, 児童生徒が読書に親しむことのできる環境づくりに努めるとともに, 地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る気運をより高めていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の生活実態と読書実態の関連を知るための現状調査等を行うとともに, 本事業を推進したことによる効果や成果を継続的に見取っていく。</li> </ul> ①内 容 … 児童生徒の現状を知る調査。教職員や保護者の意識の変容を知る調査。 ②方 法 … 質問紙によるアンケート調査など ③時 期 … 1年次(6月に1回目の調査, 2月に2回目の調査を行う) 2年次(6月に3回目の調査, 12月に総括調査を行う) ④その他 … 本調査の内容は, 必ず推進会議で取り上げ, 課題や研究の方向性を探る資料とする。 また, 家庭や地域にも結果を還元し, 学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいくこととする。
		<b>平成19年度の取組の重点</b>	本年度, 各校においては, 本年度の成果を生かしつつ, 以下の観点も含めながら取り組んでいくこととしている。 ①体制や取組を再度整備し, より充実を図る ②家庭や関係機関との一層の連携協力を図る ③小・中学校の交流・連携を活性化させる

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成18・19年度)の研究主題  
— 平成19年度 —

都道府県名・推進地域名		推進協力校名 協力機関名	平成19年度 事業の内容・取組の重点	
12	鳥取県 岩美町	<推進協力校> 岩見町立岩美南小学校 岩見町立岩美西小学校 岩見町立岩美北小学校 岩見町立岩美中学校  <協力機関> 岩美町立図書館	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	1) 岩美町子ども達が家庭、学校、地域であらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるような体制づくりをさらにめざしていく。 2) 岩美町立図書館と保育所、小学校、中学校が連携を図りながら積極的に読書活動を推進していく。
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	1) 児童生徒や保護者を対象に、読書活動についての実態把握を定期的実施し、その変容をとらえていく。
			<b>事業の内容</b> ③その他	1) 町立図書館を核として地域全体で読書活動を推進する。
			<b>平成19年度 の取組の重点</b>	1) 家庭における読書の習慣化に向けた取組を継続的に行う。 2) 学校と町立図書館との連携を一層図り、児童生徒の読書意欲の向上を図る。
13	広島県 三原市	<推進協力校> 三原市立大草小学校 三原市立和木小学校 三原市立大和中学校  <協力機関> 三原市立中央図書館 三原市立大和図書館	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	・市立図書館から学校への蔵書の貸出し ・市立図書館から学校への司書の派遣 ・読書ボランティアによる学校での読み聞かせ活動等 ・学校から家庭への啓発、情報発信による協力体制の確立、
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	・児童生徒アンケート(好き嫌い、必要感、有用感、取組内容への評価等) ・児童生徒の読書冊数、読書傾向の把握 ・児童生徒の読むスピード、視写スピード ※ 読書活動を支える技能として ・教職員アンケート(読書指導に関する自己評価、児童生徒の変容への気づき) ・保護者アンケート(児童生徒の家庭での読書状況、学校の取組に対する評価)
			<b>事業の内容</b> ③その他	・読書活動を推進するための諸取組(推進協力校) ・先進校・地域への視察研修(推進協力校) ・読書活動推進のための教職員研修会の開催(市教委)
			<b>平成19年度 の取組の重点</b>	○家庭での読書習慣の形成・定着を図る取組を全推進協力校で展開すること ○各推進協力校の重点課題に応じた取組を進めること ・ジャンルの拡大 ・読書意欲につながる環境整備 ・読書の質の向上
14	愛媛県 伊予市	<推進協力校> 伊予市立中山小学校 伊予市立佐礼谷小学校 伊予市立中山中学校  <協力機関> 伊予市立図書館 なかやま農業総合センター図書室	<b>事業の内容</b> ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	○地域の人材による読み聞かせ、お話し会等の開催 ○小中連携による読み聞かせ ○家族ふれあい読書や親子読書カードによる家庭読書のすすめ ○学校・学年通信や読書便りによる読書活動の啓発 ○公立図書館からの借入れ ○市立図書館や地域の図書館との連携による学習指導や読書活動
			<b>事業の内容</b> ②読書に関する現状調査	○平成18年度と同じアンケートを同時期に実施し、意識の変化を調査 ○毎月の読書量調査 ○図書を活用した授業後の感想
			<b>事業の内容</b> ③その他	○朝の読書の充実 ○各教科等による図書を活用した授業の推進 ○図書委員会活動による啓発 ○読書集会の実施 ○読書環境の整備・充実 ○中山地域の小中学校合同の研修会
			<b>平成19年度 の取組の重点</b>	○家庭における読書習慣の形成 ○公立図書館との一層の連携 ○読書に親しみ豊かに学ぶ授業づくりや読書力を育成する学習指導のあり方 ○各教科との連携を図る年間計画の見直し

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成18・19年度)の研究主題  
— 平成19年度 —

	都道府県名・ 推進地域名	推進協力校名 協力機関名	平成19年度 事業の内容・取組の重点	
15	高知県 土佐町	<p>&lt;推進協力校&gt; 土佐町立田井小学校 土佐町立森小学校 土佐町立相川小学校 土佐町立名高山小学校 土佐町立石原小学校 土佐町立土佐町中学校</p> <p>&lt;協力機関&gt; 土佐町立図書館 高知県立図書館</p>	<p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>平成19年度 取組の重点</p>	<p>○図書主任会による研究と実践 ○学校での主体的・具体的な取組 ○町内教職員研修会の開催 ○読書推進作品の募集と表彰、作品集の作成 ○読書まつりの実施</p> <p>○小・中学生を対象とした図書主任会によるアンケート調査の実施と分析・考察 ○町立図書館の来館者数と図書貸出数の調査</p> <p>○読書啓発リーフレットの作成 ○県立図書館との連携</p> <p>○図書主任会での情報交換と学習 ○教職員研修会の実施 ○いろいろな場での読み聞かせ活動と読書啓発活動 ○家庭や地域との連携</p>
16	熊本県 宇土市	<p>&lt;推進協力校&gt; 宇土市立緑川小学校 宇土市立網津小学校 宇土市立住吉中学校</p> <p>&lt;協力機関&gt; 宇土市立図書館 宇土市緑川公民館 宇土市網津公民館</p>	<p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>平成19年度 取組の重点</p>	<p>・学校において始業前の朝読書の時間に、保護者及び地域の方々のボランティアによる定期的な本の読み聞かせ会の実施 ・家庭での読書への意識向上をめざした親子読書カードの配布 ・授業におけるGTの活用や定期的な本の貸出といった市立図書館との連携 ・いつでも本が手に届く環境づくりとして、地域読書ステーションの設置</p> <p>・三校共通の読書に関する実態調査の実施(児童生徒・保護者・職員)及び実践の評価</p> <p>・読書活動通信「読書の輪」の発行</p> <p>①子どもの読書量の二極化解消と読書の質の向上 ②簡潔で活用できる読書活動年間計画の作成 ③学校図書館、学習ルーム、読書コーナーなど本がいつでも手に届く環境づくり ④親子読書の取組による家庭での読書習慣づくりの推進と保護者の意識の高揚 ⑤地域読書ステーションでの活動の充実</p>
17	宮崎県 日南市	<p>&lt;推進協力校&gt; 日南市立油津小学校 日南市立桜ヶ丘小学校 日南市立油津中学校</p> <p>&lt;協力機関&gt; 日南市生涯学習センター 「まなびピア」内日南市立図書館分館</p>	<p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>平成19年度 取組の重点</p>	<p>○油津地区学力向上推進検討委員会及び推進委員会や青少年育成協議会、油津ネットワーク等を組織して、本地域と三つの小中学校の連携・協力による活動を展開している。 ○油津地区学力向上推進委員会の取組の一つに「読書活動の推進」を掲げ、活動している。 ○各学校共通実践として「朝の読書活動」に取り組んでいる。 ○各家庭の共通実践事項として「ファミリー読書」等の実践に取り組んでいる。</p> <p>○児童生徒の読書活動の実態を把握するための読書量等の実態調査 ○推進協力校による「読書タイム」等、共通実践事項の設定に関する調査 ○家庭での読書活動の推進のための実態調査 ○学校におけるボランティアによる読み聞かせ活動の充実に関する調査 ○市立図書館と連携・協力した読書活動の推進のための調査</p> <p>○読書活動啓発と推進のための「油津地区読書フェスティバル」の開催</p> <p>○学校と市立図書館とのさらなる連携・協力の推進を行う。 ○読書活動推進会議を開催し、学校間の連携を図り、共通した取組を行う。 ○油津地区読書フェスティバルを開催し、児童生徒の読書への意欲付けとする。</p>

生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(平成20年度)の研究主題

NO	都道府県名 推進地域名	推進協力校名	平成19年度の成果と課題 平成20年度事業の内容・取組の重点
1	7 福島県 双葉町	<推進協力校> 双葉町立双葉南小学校 双葉町立双葉北小学校 双葉町立双葉中学校	<p>平成19年度の成果と課題</p> <p>&lt;推進協力校や協力機関等、家庭、地域社会における成果&gt; 児童生徒においては、読書を好む割合が増加し、不読者の割合も少しずつ減少してきている。また、読書量(日数、時間、冊数、頁数)、学校図書館や公立図書館の利用・活用割合、読書を通しての友達や家族との交流も少しずつ増えてきており、学校の教育活動において、読書活動の取組のよい影響が表れてきている。 教職員・保護者・協力機関等職員においては、読書のよさ(価値)や魅力、必要性についての認識を深め、読書環境の整備・充実を図ったり、身に付けさせたい力や向上させたい力を明確にして読書活動を支援したりする意識が高まってきている。 地域社会においては、情報誌や広報誌等からの情報収集により、双葉町における読書活動推進に理解を深めてきている。</p> <p>&lt;推進協力校や協力機関等、家庭、地域社会における課題&gt; 特に、読書活動の普及・啓発活動の点から、推進協力校や協力機関等(ふたば幼稚園、双葉町児童館)における家庭への「たより等」による情報発信、家庭からの情報収集は充実してきている。しかし、双葉町教育委員会・双葉町子ども読書活動推進会議・双葉町図書館における学校・家庭・地域社会への情報誌や広報誌等による情報発信は定期的に行っているものの、まだまだ改善の余地はある。</p> <p>平成20年度の取組の重点</p> <p>◆推進地域における研究主題◆ ～子どもたちを地域の主役にした読書活動による「読書の街」「読書コミュニティ」を目指して～ 【方針】① 読書活動推進における学校・家庭・地域社会のよりよい相互連携の在り方を探る。 ② 推進地域全体としての「共通性」、推進協力校・協力機関等の「独自性」を生かす。 平成18・19年度「生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(読書活動推進地域事業)」におけるこれまでの取組と成果を生かして継続実施、かつ、これまでの課題解決に向けた取組を実施する。特に推進地域全体への普及・啓発活動を重点として、積極的な情報の発信とともに、「子ども読書の日」や「読書週間」を契機に、読書活動推進のための「(仮称)双葉町子ども読書コンクール」「(仮称)双葉町子ども読書フォーラム」を実施し、子どもたちを地域の主役にした読書活動による「読書の街」「読書コミュニティ」を目指す。また、指導主事(H20)の配置により、読書活動への助言や読書活動に関する情報提供の充実を目指すとともに、幼・小・中の読書活動における連携の在り方について実践を通して探る。学校司書(中学校1校にはH19、小学校2校にはH20)の配置により、図書館教育担当職員や学校図書ボランティアとの連携の在り方を実践を通して探る。</p> <p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>平成18・19年度「生きる力をはぐくむ読書活動推進事業(読書活動推進地域事業)」において取り組んできた学校、家庭、地域社会の相互連携を継続実施する。その際には「人・物・情報」を視点として、工夫・改善を加えながら、よりよい相互連携の在り方についてさらに探る。 平成20年度には、推進地域である双葉町全体で読書活動推進への意識を高め合い、かつ、相互に連携して取り組むことができるよう、事業として「(仮称)双葉町子ども読書コンクール」「(仮称)双葉町子ども読書フォーラム」を企画・開催する。なお「(仮称)双葉町子ども読書フォーラム」の内容(案)は以下の通りである。 ○ 読書発表会(読書に関する内容の発表会…音読、朗読、群読、作文や読書感想文発表、読書標語発表等) ○ 調べ学習や体験活動等のレポート発表会 ○ 読み聞かせの実演(ボランティア団体、中高生ボランティア活動による) ○ 読書講演会(双葉町PTA連絡協議会主催、双葉町教育委員会共催による) ○ 読書に関する各種コンクール表彰(作文、読書感想文、読書標語、読書マスコット、読書感想画等)</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>&lt;児童生徒の読書に関する調査&gt; ○第5次 平成20年6月 実態(課題把握)調査 ○第6次 平成21年1月 実態(変容把握)調査 &lt;児童生徒の読書傾向(読書冊数・読書頁数)調査&gt; ○児童生徒に対しては、毎月または隔月ごとに読書傾向(読書冊数・読書頁数)調査を継続実施(H18から)する。 なお、この調査実施の際、教師に対しては、「児童生徒の変容」「教師の支援や感想」「連絡や要望等」調査(記述回答)を継続実施(H19から実施)する。 &lt;『双葉町子ども読書活動推進計画』(平成20年4月策定予定)の実践状況に関する評価調査&gt; ○推進計画に準じた読書活動の実践状況を把握することを目的として、保護者、図書館ボランティア、教職員、双葉町図書館等関係職員、地域住民を対象として、推進状況を確認・評価するための調査を実施する。その調査結果(各学校評価・各機関評価を含む)をもとに、推進地域全体の事業評価とする。</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>平成20年4月策定の『双葉町子ども読書活動推進計画』に準じた実践を積み重ねていく。 また、実践を積み重ねながら、臨機応変によりよい実践事例も取り入れて実践していく。 特に推進協力校においては、学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」の機能を生かすとともに、より一層の読書環境の整備・充実を図りながら実践研究を重ね、「読む活動」「調べ(活用する)活動」の確立を図るための方策を探る。</p>
2	11 埼玉県 三郷市	<推進協力校> 三郷市立立花小学校 三郷市立前谷小学校 三郷市立北郷小学校 三郷市立彦郷小学校 三郷市立高州小学校 三郷市立吹上小学校 三郷市立瑞木小学校 三郷市立栄中学校	<p>平成19年度の成果と課題</p> <p>①成果 ・推進協力校において学校図書館の環境整備についてメッセージ化することができた。 ・推進協力校において、「家庭読書の日」を設定し、家庭における読書啓発を行うことができた。 ②課題 ・小中学校の連携した読書活動の取組の工夫。 ・市内全小中学校における「家庭読書の日」の取組実践。 ・「問題意識を持って読む」授業の積極的な展開。 ・小中学校と公立図書館等の連携。</p> <p>平成20年度の取組の重点</p> <p>①「読書好きの子ども」の育成を目指した読書の習慣化の促進 ②読書量の増加・読書の質の向上を目指した読書活動の推進 ③学校間、公立図書館等との連携の促進</p> <p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>①家庭読書の推進 三郷市「読書の日」(4月23日、11月23日)を設定 読書強化週間「読書の日」前後5日間、計10日間を設定 読書強化週間に読書記録をつける ②子どもに読ませたい本選定(三郷市立図書館協力) ③市立図書館による「団体貸し出し」 ④小学校3年生へ「ブックトーク」(三郷市立図書館) ⑤読書ボランティアへの「読み聞かせ応援講座」(三郷市立図書館) ⑥読書ボランティアとの連携と読書ボランティア間の交流</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>①読書に関する実態調査(推進協力校) ・読書量調査 ・読書に関する意識調査(児童・保護者・教師) (市内小・中学校) ・読書量調査 市内28校での調査</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>①授業における「生きる力をはぐくむ読書活動」の推進 「読み比べ」「読み重ね」の授業実践 ②各教科「図書館活用計画書」作成 ③朝読書年間計画 ④感想交流(読んで何を感じたか) 異学年交流・学校間交流</p>

NO	都道府県名 推進地域名	推進協力校名	平成19年度の成果と課題 平成20年度事業の内容・取組の重点	
3	13 東京都 荒川区	<推進協力校> 荒川区立第一日暮里小学校 荒川区立第二日暮里小学校 荒川区立第六日暮里小学校	<p>平成19年度の成果と課題</p> <p>〔成果〕・学校図書館の整備 ・読書活動の充実 ・学校図書館ボランティアの活用 ・区立図書館との連携の推進 ・地域の方や保護者への啓発 〔課題〕・区立図書館と学校の一層の連携を図る。 ・学校間の相互交流を行う。 ・家庭の意識調査結果の分析と変容を把握する。 ・保護者、地域、区内小中学校関係者に情報を発信し一層の理解と協力を仰ぐ。 ・教育課程に位置づけた読書活動を創意工夫し、一層充実する。</p> <p>平成20年度の取組の重点</p> <p>教育課程に位置づけた意図的・計画的な学校図書館活用の取組と公立図書館との連携</p> <p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>親子読書の推進 学校図書館ボランティア活動の充実 日暮里図書館と連携した読書活動の推進 学校間の読書活動による相互交流 定期的な連絡会の実施 先進地域における事例の導入</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>学校図書館貸出冊数調査(月毎の貸出状況) 児童の読書量調査(1か月に読む本の平均冊数) 児童生徒の読書に対する意識調査 家庭での読書実態調査(家庭での読書習慣、読書時間、読書量等)</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>教科等に位置づけた読書活動にかかわる指導資料の集約</p>	
4	25 滋賀県 近江八幡市	<推進協力校> 近江八幡市立沖島小学校 近江八幡市立八幡中学校 近江八幡市立八幡東中学校 滋賀県立八幡工業高等学校	<p>平成19年度の成果と課題</p> <p>&lt;成果&gt; ・継続的かつ日常的な取組が、児童生徒の読書を定着させ、読書活動の内容を深めることにつながっている。特に、高等学校での全校一斉読書の取組は、生徒の意識とともに教員の意識が変わったという点において、成果の一つに挙げられる。 ・保健センターと市立図書館の連携による4か月の乳児への読み聞かせ、ブックスタート事業の取組により、市立図書館で開催している0, 1, 2歳児対象の読み聞かせの会への参加が増え、2会場にわかれて実施する状況である。子育てが始まったばかりの保護者に「子どもが本に触れる」ことの大切さを示す貴重な機会となっている。 ・今まで交流が少なかった小学校・中学校・高等学校が連携をとり、それぞれの取組を交流したり、推進協議会で広い視野に立った意見をいだいたりすることをおとして、発達の連続性を踏まえた将来につながる読書活動の在り方を考えるきっかけができた。 &lt;課題&gt; ・推進校における読書活動の充実により、読書の楽しさや価値を見出す児童生徒がいる反面、読書が自分の学習や生活にとって大切だと思いつつ、部活等で時間が足りない、テレビの視聴に流れてしまうという意見もある。生きる力につながる読書活動を展開するためにも、読書活動についての中・高の年間指導計画を交流し、検証する作業をおとして、どの段階で、どのような本に、どのような出会い方をさせるかを明確にしていき、発達の特性や連続性をいかにした読書活動の在り方を考えていきたい。 ・家庭において読書習慣が定着するよう、今年度の調査結果を伝え、保護者に対して具体的な働きかけをしていく必要がある。</p> <p>平成20年度の取組の重点</p> <p>①推進校における取組を充実させるとともに、発達の連続性に視点を置いた取組を実施する。 ②市立図書館等関係機関との連携を充実させ、家庭への働きかけを工夫する。</p> <p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>・各学校が市立図書館や市民団体等の関係機関と連携し、読書指導や読書活動の充実について検討を重ね、効果的な読書活動や教育課程の位置づけについて検証する。 ・系統的な読書指導のあり方を探り、発達段階に応じた読書活動を推進する。</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>・意識調査、現状調査を実施し、変容を把握する。 ・ブックトークや読み聞かせ後の追跡調査や読書量の変化等に注目する。</p>	
5	27 大阪府 豊能町	<推進協力校> 豊能町立東能勢小学校 豊能町立吉川小学校 豊能町立光風台小学校 豊能町立東ときわ台小学校 豊能町立吉川中学校 豊能町立東能勢中学校	<p>平成19年度の成果と課題</p> <p>2年間の研究により、1年目は、地域・保護者・児童・生徒の意識調査を行い、読書活動の現状把握と読書量の向上に向けた取組を行った。地域の保護者の読書活動への関心は高く、また、家庭でも様々な取組をすすめていることが分かった。2年目は、読書活動を生きる力につなげるための読書の質の向上に向けた取組や言語力の育成に向けた学校図書館と連携した授業の研究を行った。各校で図書館を中心に様々な取組を行った結果、児童生徒の読書量は増加した。 今後は、この成果を豊能町全体の読書活動の推進に生かし、学校教育の中に学校図書館を位置づけ、「生きる力」をいかに育む取組として定着させていくことが課題である。</p> <p>平成20年度の取組の重点</p> <p>① 定期的に推進連絡協議会を開催し、町内全体の読書活動推進の課題を交流し、生きる力につながる読書活動について検討を行う。 ② 「言語力」の向上に向け、学校図書館と連携した授業の研究をすすめる。 ③ 読書の「量と質」の向上のための学校図書館の活動のあり方を研究する。 ④ 研究成果を町内全体に広める。</p> <p>事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組</p> <p>・保護者や地域の方による本の読み聞かせ活動の推進 ・学校図書館司書による保護者向けの図書館だよりによる啓発活動 ・町立図書館による読み聞かせボランティア育成講座の実施 ・町内各機関と連携した「読書感想文コンクール」の実施</p> <p>事業の内容 ②読書に関する現状調査</p> <p>1・2年次に実施した読書アンケートの具体化のための、各推進校における読書活動推進の取組に関する意識調査の実施</p> <p>事業の内容 ③その他</p> <p>読書活動と教科学習との連携を研究し、「言語力」の育成に向けた授業研究の実施。</p>	

NO	都道府県名 推進地域名	推進協力校名	平成19年度の成果と課題 平成20年度事業の内容・取組の重点	
6	30 和歌山県 海南市	<推進協力校> 海南市立北野上小学校 海南市立北野上小学校七山分校 海南市立中野上小学校 海南市立南野上小学校 海南市立東海南中学校	平成19年度の成果と課題	<p>この2年間、各校の実状を生かしながら、それぞれの実態にあった取組を焦点化しながら取り組んできた。各校における成果等を下に挙げ、振り返ってみたい。</p> <p><b>【北野上小学校】</b> 本取組により、児童の読書への興味・関心が高まり、自主的に読書するという習慣が身に付いた。また、本の世界を共有する中で、子ども同士で本について情報交換したりする姿が見られるようになった。同時に、読書活動を取り入れた授業実践(伝え合う場を設定)を計画的に行ったことにより、生き生きとした表現活動を引き出すことができた。さらに、読書から得た知識を学習に生かしたり、自分の生き方について考えたりする姿も見られるようになった。これからも、実践を継続発展させていくことが大切である。 今後は、子ども達が意欲的に読書ができるよう、学校図書館をはじめ読書環境の整備・充実をさらに図ったり、家庭や地域、公民館との連携を深めながら、読書活動を推進していかねばならない。</p> <p><b>【中野上小学校】</b> 1ヶ月に10冊以上本を読んだと答えた児童は、H18年7月(24.3%)→H19年2月(52.4%)→H19年6月(63.5%)と増加している。読書活動の推進により、子ども達の読書の機会が増え、図書がより身近なものとなってきたことがわかる。また、読書意欲の向上とともに、必要に応じて図書を適切に選ぶことができる子どもが増えてきた。その他、公立図書館を積極的に活用したり、関係機関との連携が密になってきたりしたことは大きな成果である。 今後は、読書の幅をさらに広げる指導の工夫や読書活動を通しての読解力の育成、学習情報センターとしての図書室の整備、中学校との連携の充実等を図ってきたい。</p> <p><b>【南野上小学校】</b> 継続的な取り組みを通して、児童の読書に対する関心が高まってきたといえる。特に、児童間で読書のことを話題にし、お互いに交流する姿がみられるようになり、読書量が増えるとともに、読む習慣が身に付いてきた。また、学校便りや保護者会での啓発活動、夏休みの親子読書を通して、保護者の読書への関心も深まり、地域・家庭と連携しながら進めていくことができた。 今後は、さらに学年や目的に応じ必要な本を選ぶ眼を養い、読書の質を高めていく工夫や学校図書室のさらなる充実とともに、地域の図書館の利用を促進する必要があると考えている。</p> <p><b>【東海南中学校】</b> 「本のことを話題にして友達と話をしましたか？」というアンケートでは、「した」と答えた生徒が、昨年34.8%だったのが本年は43.3%と8.5%増えている。また、種々の取組により、少しずつではあるもの子どもたちの生活の中に読書が定着してきているものと考えられる。さらに、地域・家庭・小学校等との連携をより深めることができた。 次年度以降は、蔵書数の増加を図ったり、図書室の書架の展示の仕方をこれまで以上に工夫したりするなど、図書室の充実にも努めるとともに、委員会活動など自発的な活動をすすめていく中で、自ら学び解決する力を育むことができるよう支援してきたい。</p>
			平成20年度の取組の重点	<p>本年度、各校においては、本年度の成果を生かしつつ、以下の観点も含めながら取り組んでいくこととしている。</p> <p>① 読書環境の更なる工夫・改善・充実を図る 今後も魅力的な環境作りを努めるため、 ・子どもたちのニーズ、時代の要請等に応じることのできる多様な本の確保、蔵書の整備 ・興味を引き、かつ欲しい本が見つけやすい配架の工夫や手軽に検索できるシステムの構築 ・児童生徒会活動や委員会活動による主体的な図書館運営 ・公民館や公共図書館との連携を密にした本の貸与、情報交換 ・保護者や地域ボランティアが参画する図書館経営 などに取り組んでいきたい。</p> <p>② 確かに読み取る力の育成、読解力の育成を図る 国語科を中心にしながら、各教科等における読書活動の位置づけ(ねらいや内容等)を明確にするとともに、全教科、領域等を通して読解力の育成に努めていきたい。</p> <p>③ 家庭や関係機関、学校間・校種間の一層の連携・協力を図る 学校が家庭や地域に向けて(読書に関する内容を)発信することはもちろん、家庭や地域が学校に対して(読書に関する)情報(ソフト面、ハード面)を提供する相互交流がなされなければならないと感じている。</p>
			事業の内容 ①学校、家庭、地域 社会が連携した取組	<p>① 海南市読書活動推進会議の運営 学校関係者、社会教育関係者、PTA関係者、学識経験者、教育委員会関係者等からなる標記会議を立ち上げ、事業が効果的に推進されるよう指導・助言にあたる。</p> <p>② 小学校と中学校の連携 子どもたちの9年間の育ちを見通した読書活動の計画作成の他、図書館担当教諭による連絡会の開催や児童・生徒の交流等も視野に入れ、小学校と中学校の連携を図っていく。</p> <p>③ 家庭や地域との連携・協力 家庭や公民館、地域ボランティア等との連携により、児童生徒が読書に親しむことのできる環境づくりに努めるとともに、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る気運をより高めていく。</p>
			事業の内容 ②読書に関する現状 調査	<p>児童生徒の生活実態と読書実態の関連を知るための現状調査等を行うとともに、本事業を推進したことによる効果や成果を継続的に見取っていく。</p> <p>① 内 容 … 児童生徒の現状を知る調査。教職員や保護者の意識の変容を知る調査。 ② 方 法 … 質問紙によるアンケート調査 など ③ 時 期 … 6月に1回目の調査、12月に2回目の調査を行う ④ その他 … 本調査の内容は、必ず推進会議で取り上げ、課題や研究の方向性を探る資料とする。 また、家庭や地域にも結果を還元し、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいくこととする。</p>

NO	都道府県名 推進地域名	推進協力校名	平成19年度の成果と課題 平成20年度事業の内容・取組の重点	
7	31 鳥取県 岩美町	<推進協力校> 岩美町立岩美南小学校 岩美町立岩美北小学校 岩美町立岩美西小学校 岩美町立岩美中学校	平成19年度の成果と課題	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○推進協議会が中心となって事業を進めたことにより、保育所(園)・小学校・中学校・町立図書館が連携して読書活動を積極的に推進することができた。</li> <li>○家庭における読書習慣の確立に向けて、具体的な取り組みの方向性が共通理解できた。読書フォーラムや小中学校でノーテレビデーなどの機会をとらえて読書の大切さを啓発したことにより、家庭での読書活動が活発になってきた。</li> <li>○小学校において年間の読書量が確実に増加している。また、図書館利用も増えた。司書教諭や図書館職員の連携はもとより、生徒会活動、委員会活動など児童生徒自らが新しく購入した本を工夫して紹介したり、音読集会などで読書の楽しさを読み語りを通して友だちに伝えたりした成果ともいえる。</li> <li>○読書アンケートの分析により、町立図書館の利用が5.6ポイント上がった。まだ十分とはいえないが、魅力ある図書館づくりに向けて、図書館の環境づくりに努めた成果といえる。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭における読書習慣の形成は、まだまだ十分とはいえないので、今後は子ども達の下校後における時間の過ごし方や、ノーテレビデーを活用しての読書啓発に重点において取り組んでいきたい。(岩美町子ども読書活動啓発リーフレットの活用)</li> <li>●家庭において読書ができていない家庭とできていない家庭、保護者の読書に対する関心度に差がみられる。(二極化傾向の有無について検討していく必要がある)</li> <li>●教科学習における読書活動の充実に向けていく必要がある。(学校図書館を活用した教科学習の充実、及び言葉を大切に学習の展開)</li> </ul>
			平成20年度の取組の重点	<p>1) 家庭における読書の習慣化に向けた取組を継続的に行う。</p> <p>2) 学校と町立図書館との連携を一層図り、児童生徒の読書意欲の更なる向上を図る。</p>
			事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	<p>1) 岩美町の子ども達が家庭、学校、地域であらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるような体制づくりをさらにすすめていく。(岩美町子ども読書推進協議会からの発信)</p> <p>2) 岩美町立図書館と保育所(園)、小学校、中学校が連携を図りながら、所(園)や学校において積極的に読書活動を推進する。(岩美町教育研究会学力向上部会及び岩美郡教育研究会図書館教育部会からの発信)</p>
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	<p>1) 児童生徒や保護者を対象に、読書活動についての実態把握を定期的の実施し、その変容をとらえていく。(読書アンケートの実施)</p>
			事業の内容 ③その他	<p>1) 町立図書館を核として地域全体で読書活動を推進する。(地区公民館における読書活動推進にかかわる取組)</p>
8	34 広島県 三原市	<推進協力校> 三原市立和木小学校 三原市立大草小学校 三原市立大和中学校	平成19年度の成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒の学校図書館へ行く頻度が増えた。</li> <li>○読書好きな児童・生徒が増えた。</li> <li>○読書のきっかけとしての朝読書の有効性が確かめられた。</li> <li>○本を好きになるきっかけとして、友人による本の紹介の有効性が確かめられた。</li> <li>○家庭での読書習慣の形成・定着がすすんだ。</li> <li>○計画的な読書活動・学校図書館活用がすすんだ。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●読書の質と幅(目的・ジャンル)の一層の充実を図る。</li> <li>●教科学習での図書資料の利用指導の一層の充実を図る。</li> </ul>
			平成20年度の取組の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、自ら本を探し、活用する力の育成</li> <li>○各推進協力校の重点課題に応じた取組</li> <li>・個に応じた読書の質の向上、読書習慣のさらなる定着</li> <li>・教科目標の達成に向けた「図書を利用した指導」の一層の工夫</li> <li>・読んで表現する取組の推進</li> </ul>
			事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館から学校への蔵書の貸出し</li> <li>・市立図書館から学校への司書の派遣</li> <li>・市から学校への司書の派遣</li> <li>・読書ボランティアによる学校での読み聞かせ活動等</li> <li>・学校から家庭への啓発、情報発信による協力態勢の確立</li> <li>・「家庭読書」取組の継続</li> </ul>
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒アンケート(好き嫌い、必要感、有用感、取組内容への評価等)</li> <li>・児童生徒の読書冊数、読書傾向の把握</li> <li>・児童生徒の読むスピード、視写スピード ※ 読書活動を支える技能として</li> <li>・教職員アンケート(読書指導に関する自己評価、児童生徒の変容への気づき)</li> <li>・保護者アンケート(児童生徒の家庭での読書状況、学校の取組に対する評価)</li> </ul>
			事業の内容 ③その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進するための諸取組(推進協力校)</li> <li>・先進校、地域への視察研修(推進協力校)</li> <li>・読書活動推進のための教職員研修会の開催(市教委)</li> </ul>
9	45 宮崎県 日南市	<推進協力校> 日南市立油津小学校 日南市立桜ヶ丘小学校 日南市立油津中学校	平成19年度の成果と課題	<p>① 研究実践の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の読書意欲が向上してきた。</li> <li>○平成19年度全国学力・学習状況調査での「読書は好きですか」という設問に対して、油津中学校では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒は73.2%(全国平均67.9%)であり、油津小学校では75.7%(全国平均71.3%)であり、桜ヶ丘小学校では、88.0%(全国平均71.3%)であった。このように、すべての学校で読書への意欲が高まっている。</li> <li>○読書の意義を感じるようになった。</li> <li>○アンケート調査での「本を読んでよかったこと」について、「知らなかったことを知る」「友だちと本の内容を話す」が2～3ポイント上昇するなど、読書の意義を感じ始めている。</li> </ul> <p>② 研究の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と市立図書館との連携の在り方についての具体策の必要性がある。</li> <li>○読書教育をとおして、子どもたちの心を育て、学力向上を図る研究の必要性がある。</li> </ul>
			平成20年度の取組の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と市立図書館とのさらなる連携・協力の推進を行う。</li> <li>○読書活動推進会議を開催し、学校間の連携を図り、共通した取組を行う。</li> <li>○油津地区読書教育研究大会を開催し、生きる力を育むための読書教育の在り方についての研究発表を行う。</li> </ul>
			事業の内容 ①学校、家庭、地域社会が連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○油津地区学力向上推進検討委員会及び読書活動推進委員会や青少年育成協議会、油津ネットワーク等を組織して、本地域と三つの小中学校の連携・協力による活動を展開している。</li> <li>○油津地区学力向上推進委員会の取組の一つに「読書活動の推進」を掲げ、活動している。</li> <li>○各学校共通実践として「朝の読書活動」に取り組んでいる。</li> <li>○各家庭の共通実践事項として「ファミリー読書」等の実践に取り組んでいる。</li> </ul>
			事業の内容 ②読書に関する現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の読書活動の実態を把握するための読書量等の実態調査をしている。</li> <li>○推進協力校による「読書タイム」等、共通実践事項の設定に関する調査をしている。</li> <li>○家庭での読書活動の推進のための実態調査をしている。</li> <li>○学校におけるボランティアによる読み聞かせ活動の充実に関する調査をしている。</li> <li>○市立図書館と連携・協力した読書活動の推進のための調査をしている。</li> </ul>
			事業の内容 ③その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書教育推進のための「油津地区読書教育研究大会」の開催をしている。</li> </ul>